
WASHI

和紙シート



MATERIO

MANUAL

施工マニュアル

目次

1	和紙シート	02
2	使用上の注意	03
3	ガラス・アクリルへの施工（水貼り基本施工）	04
4	ガラス・アクリルへの施工（機械貼り）	07

1 製品概要

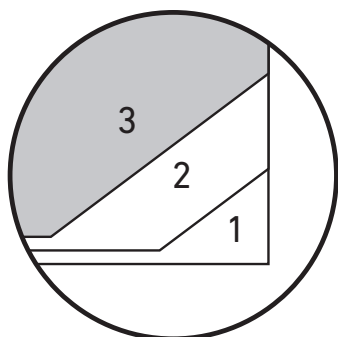
マテリア「和紙シート」

和紙シートは天然和紙を使用しております。和紙シートを透明素材（ガラス・アクリル）に貼ることにより、美しい楮^{*}（こうぞ）の質感を楽しむことができます。一方で、透明糊を使用しているため、下地の色や柄が透けるのでご注意ください。また、天然和紙のため、経年変化で趣が変わります。

和紙シートは屋内用です。屋外では使用できません。

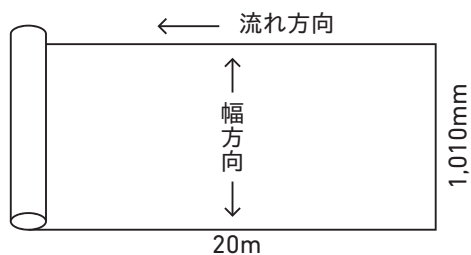
*楮は、古くから和紙の原料として使用され、その繊維は強靱で光沢があり、和紙の特徴である薄く強い性質をもっています。

2 製品構造図



- 3 特殊和紙
- 2 粘着剤層
- 1 セパレーター

3 製品仕様



- サイズ：1,010mm 幅×20m
- 屋内用

4 製品の種類

- 基本色 ——— 6種類

WS-011	大雲竜	白
WS-012	大雲竜	生成
WS-021	雲竜	白
WS-022	雲竜	生成
WS-031	無地	白
WS-032	無地	生成

5 用途

- ガラス・アクリル用（透過タイプ）

ウインドウ装飾、目隠し、パーティション、サインのベースや、ランプシェードなど。

① ご注意ください

作業環境について

- 和紙シートの貼り付け作業は、15℃～30℃の室内温のもとでおこなってください。もし低温下でおこなう場合は、ジェットヒーターや熱ランプ、ドライヤーなどで基材の温度を高めながらおこなってください。
- 貼り付け作業は、きれいな場所でおこなってください。

加工・施工について

- 天然和紙につき、直射日光による製品の焼けや変色があります。
- ロールから製品を広げると、シートとセパレーターがトンネル状に剥離する場合があります。製品の異常ではありませんが、早めの使用（貼り付け）をおすすめします。
- 和紙シートは透過タイプです。透明以外の下地に貼る際は、下地の色や柄が透ける場合がありますのでご注意ください。
- 貼り付け基材にはガラス、アクリルなどの平滑な素材をお選びください。凹凸のある素材への貼り付けは避けください。
- 本製品は屋内用です。屋外での使用はできません。また、屋内でも水回り等、過度な湿度がある場所でのご使用は避けください。
- 重ね貼りは出来ません。
- カットの際に楮(和紙原料繊維)が引っ掛かる場合があります。また、マシンカット加工は避けください。
- ガラス、アクリルへの施工は水貼りがおすすめですが、シート表面を擦り過ぎないようにご注意ください。けば立ちや破れの原因となります。
- 圧着の際は、プレスタに厚めの保護材（布、クッション材等）を巻き、表面に通常より多めの水を吹きつけて、しっかりと圧着してください。
- 製品の特性上、施工後に空気が残る場合があります。

保管・運搬について

- 室温20℃前後、湿度40～60%程の環境で保管してください。
- 購入後はできるだけすぐに使用してください。
- 運搬時は下積みを避け、和紙シートがつぶれたり、折れじわがつかないように注意してください。

その他

- 天然素材のため、風合いや模様がロールの中でも異なります。
- カタログの写真と製品の色とは異なる場合があります。
- セパレーターは滑りやすいので転倒事故等にはご注意ください。
- 人体への貼り付け等、本来の用途以外でのご使用は避けください。
- 製品の仕様等は、予告なく変更する場合があります。
- ご使用の際は、使用上の注意をご覧いただき、ご不明な点は弊社までお問い合わせください。

推奨ツール

和紙シートの施工は、水貼りがおすすめです。貼り付け作業を確実にこなうために、次のような道具および材料を用意してください。

- カッター
 - 金定規
 - 中性洗剤
 - アルコール
 - マスキングテープ
 - その他
 - プレスタ（ガード付き）
 - 三角定規
 - スクレーパー
 - ウェス
 - マスカークテープ
 - スプレー
 - ワイパー
 - 巻尺
- 低温時の暖熱器、照明器具など。



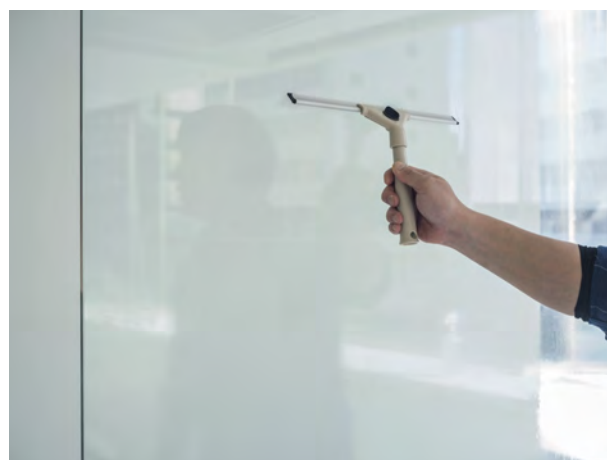
① 採寸と裁断

貼り付け部分の正確な採寸を行ってください。次に多少のゆとりをみて、必要寸法より4~5cm大きめにシートをカットしてください。
*和紙シートはロールのクセがつきやすいので、平に伸ばす際は注意深く作業をおこなってください。



② 清掃

貼り付け部分のゴミ、埃を完全に落としてください。ガラス面の清掃には、スプレー、ワイパーを使用し、糊跡など頑固な汚れを落とす場合は、アルコールやスクレーパーを使用します。アクリル板を清掃する場合は、傷になるため、スクレーパーは使用できません。



3 水吹き

被着面、和紙シート糊面に中性洗剤を数滴混ぜたスプレーで水を吹き付けます。作業環境の温度や湿度により中性洗剤の量を調整してください。位置決めをし、和紙シート表面にさらにスプレーで水を吹き付け、和紙シート全体に水を含ませます。



⚠ 注意

写真左側は、乾いた状態。写真右側は、和紙が水を含み、完全に浸み色に変わった状態。水を多く含浸させるのが上手く貼るコツです。



4 圧着

水が含浸した状態の和紙シート表面は通常よりも柔らかく、また楮（こうぞ）による段差があるため、空気が残りやすいので、圧着は注意深く、十分におこなってください。ガラス面裏側からも空気残りをチェックしながら、しっかりと圧着してください。



5 端部の処理

プレスタや、定規などにカッターの刃を添わせ、スライドさせながらカットします。和紙シートがコーキングに被らないようにご注意ください。



6 施工後の補修

施工後、空気残りが気になった場合は、カッターで突き、空気を抜いてください。また、和紙シートが完全に乾いた状態で和紙シート表面に水を吹き、再度圧着することで空気残りを軽減させることができます。



7 ジョイントの方法

水が含浸した状態の和紙シートはカッターで切りづらく、毛抜き合わせの作業は困難です。また、和紙シートの上に和紙シートを重ね貼りすることはできません。ジョイントする場合は、端面をあわせて貼り進めてください。



機械貼り

和紙シートは、ガラス設置後の現場施工と、ガラス設置前に工場内で機械貼りを施す方法があります。

機械貼りの場合は、現場での施工はできませんが、均一な強い力で圧着するため、手貼りに比べ仕上がりは綺麗です。



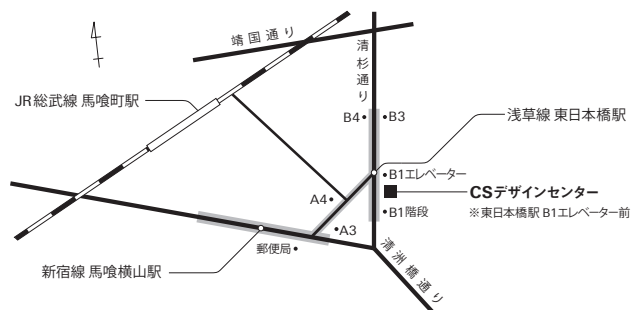
撮影協力：株式会社 丸八ガラス店



CS DESIGN CENTER [ショールーム]

装飾用シートに関するあらゆる疑問を解決できる場所です。当社の素材、約1000アイテムを自由に手にとってご覧いただける他、常駐スタッフにお声がけいただければ、さまざまなイメージの実現をサポートさせていただきます。カタログ、カットサンプルもお渡ししておりますので、是非お越しください。

営業時間 | 10:30-18:30 休み | 土・日・祝
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 3F
TEL. 03-5835-0347
<http://www.csdc.jp>



資料請求

WEB | 弊社HPの資料請求ホームよりご請求ください。 <http://www.nakagawa.co.jp>
FAX | 下記、本社、各営業所までご連絡ください。(カタログの場合は製品名、カットサンプルの場合は品番をご記入ください。また、送付先には必ず電話番号、郵便番号もご記入ください。)

製品・その他についてのお問い合わせ

本 社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 TEL. 03-5835-0341 FAX. 03-5835-0374
大阪営業所 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-5-27 TEL. 06-6543-2661 FAX. 06-6543-2664
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-10 TEL. 092-431-3013 FAX. 092-431-3019

